

#### 4. 今後の方向性

今回の調査には約 2,600 施設 (39 都府県) が参加し、日臨技主催外部精度管理調査への参加施設数より少ない状況でした。本事業の主旨であるマトリックス効果の影響の少ないヒト実試料に近い試料 (プール血清、ボランティアからの血液など) を用いた外部精度管理調査を考慮することも重要な点と思われます。今後は各地区での参加施設の勧誘と基幹施設においてヒト実試料に近い試料の作製、またそれを用いた外部精度管理調査の実践が望まれます。

都道府県単位の外部精度管理調査は参加施設数が限られますが、個別施設データの詳細を分析し是正につなげることができるなどの利点もあり、そのための解析方法や調査用試料への配慮なども大切なことです。今後、全国規模と都道府県単位の外部精度管理調査の目的を明確にし、それらを組み合わせた機能的な実施規格を作成することが重要であり、検査値標準化 WG としてもその実現に向けた検討を進めています。

〈完〉

表 1 調査用試料の濃度 (活性) 範囲と施設間精度 (CV)

項目	調査用試料濃度 (活性)		項目	調査用試料濃度 (活性)		項目	調査用試料濃度 (活性)	
	MIN 平均値 (CV)	MAX 平均値 (CV)		MIN 平均値 (CV)	MAX 平均値 (CV)		MIN 平均値 (CV)	MAX 平均値 (CV)
AST	11.0(6.3)	277.7(2.7)	UN	8.6(3.4)	67.6(2.1)	IP	2.62(2.6)	12.90(2.1)
ALT	4.0(18.6)	275.6(2.3)	CRE	0.650(6.9)	11.300(1.8)	Fe	35.3(5.1)	380.8(6.8)
LD	115.2(2.5)	460.3(2.3)	UA	3.36(4.4)	22.00(2.5)	GLU	81.5(1.4)	494.0(2.3)
CK	51.4(2.9)	1181.4(4.1)	CRP	0.024(115.6)	8.470(6.2)	HbA1c	4.80(3.9)	9.93(3.0)
ALP	82.4(5.5)	1028.1(2.6)	TP	4.62(2.1)	8.57(1.9)	IgG	730.0(3.1)	2291.1(3.8)
γ-GT	24.7(3.3)	840.5(2.2)	ALB	2.34(4.0)	5.50(2.3)	IgA	156.6(3.6)	422.0(5.7)
AMY	49.3(21.3)	805.4(2.9)	T-Bil	0.17(22.6)	4.64(4.3)	IgM	48.5(6.6)	140.3(5.0)
ChE	68.0(4.9)	404.6(2.6)	D-Bil	0.03(100.8)	2.72(11.5)	RBC	293.2(2.2)	543.2(1.7)
TC	65.0(3.1)	276.0(1.0)	Na	104.4(0.8)	166.1(0.9)	WBC	1.80(4.4)	7.77(5.1)
TG	45.2(4.2)	423.7(4.7)	K	2.78(3.4)	7.94(1.5)	Hb	4.90(2.9)	17.10(2.1)
HDL-C	19.6(15.4)	95.5(2.2)	Cl	75.3(2.4)	132.0(2.4)	PLT	1.10(54.0)	65.89(2.5)
LDL-C	20.3(5.7)	200.5(5.7)	Ca	6.46(3.6)	13.81(2.0)	MCV	72.60(3.4)	101.51(2.7)

平均値の単位は省略、( ) は施設間精度 CV%



#### 1月30日掲載 第12回 <超音波検査 上> 臓器内部診るのに有用

超音波とは人の耳には聞こえない周波数のことで、いろいろな用途があります。眼鏡店で「メガネ洗いましょうか」と言われレンズがピカピカになってもどってきたことはありませんか？超音波洗浄機といって超音波を利用したものです。

また、漁師の方々が漁船から水中にこの超音波を出して魚群を探知するのにも使われています。この魚群探知を応用したものが超音波検査です。超音波検査は痛みもなく無害とされており臨床検査に幅広く使われています。

検査は目的とする臓器の体表部分にゼリーを塗り、探触子と呼ばれる小さな装置をあてて、その探触子から出される超音波が臓器にあたって跳ね返ってくるのをとらえて画像化したものです。分類しますと①腹部②産婦人科領域 (乳腺・胎児) ③心臓④頸部一などがあります。

腹部超音波検査では胆のうや胆管、肝臓、膵臓、卑臓、腎臓などの内部構造を調べることができます。たとえば、腎 (尿路) 結石の場合は、超音波を通さないため反射が強く、石から下の部分は影となってしまい黒く表示されます。また、がん細胞も描写することができ、非常に有用な検査です。

#### 2月6日掲載 第13回 <超音波検査 中> 乳がん、妊婦健診にも

先週は超音波検査の成り立ち、方法、おなかの検査についてお話ししました。今回は婦人科の超音波検査についてお話しします。最もよく知られているのは乳がんの検査です。乳がんは三十代から増加し始めるといわれており、お風呂に入った際、胸のしこりで気づく方もおられるようです。

超音波検査は、胸にゼリーを塗り、探触子と呼ばれる小さな装置を胸にあてて反射した波形を読み取ることにより、腫瘍の形や内部の構造まで調べることができます。この検査は放射線を使用せず痛みも伴わないため、繰り返し検査ができるという利点があります。

放射線を使うマンモグラフィ検査や、CT、MRI とともに、早期発見や治療方針の決定に威力を発揮しています。

超音波は、おめでたの際にも役立っています。妊婦さんは、定期的に病院へ行き、赤ちゃんの育ち具合や様子を見ていただいていると思いますが、これも超音波を使用した検査です。赤ちゃんの育ち具合だけでなく、心臓内部の状態、肝臓、腎臓などをリアルタイムに見ることができます。最近では三次元的に鮮明な画像を作り出す機器もあるようです。

#### 平成 21 年度 会費納入について

平成 21 年度の会費納入はお済ですか。  
納入期日は、(社) 日本臨床衛生検査技師会の規定により、**3月31日迄**に納入する「前納制」となっています。お忘れのないようお願いします。

#### 平成 20 年度 第 2 回定期総会

日 時：平成 21 年 3 月 28 日(土) 午前 10 時  
会 場：大森東急イン 5F フォレストルーム

- ※ 議案書は、医学検査 3 号をごらん下さい。
- ※ やむを得ず、欠席される方は委任状の提出をお忘れなく